

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	14-301	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
Alcohol and drug treatment involvement, 12-step attendance and abstinence: 9-year cross-lagged analysis of adults in an integrated health plan. アルコールと薬物治療における 12 ステップへの参加と断酒の関与：9 年間の統合保健計画における成人の交差的時間差分析		
執筆者		
Witbrodt J, Ye Y, Bond J, Chi F, Weisner C, Mertens J.		
掲載誌		
J Subst Abuse Treat. 2014 Apr;46(4):412-9. doi: 10.1016/j.jsat.2013.10.015. Epub 2013 Nov 12.		
キーワード	PMID	
12ステップ、アルコール薬物治療、統合保険計画	24342024	
要旨		
<p>本研究は複数の研究のデータで治療後 12 ステップの参加と断酒の間に原因的関連を調査し、9 年後に治療開始から断酒に通じている間接的な経路を調べた。</p> <p>統合した健康管理機構の外来患者治療計画からアルコールまたは薬物使用障害のために援助を求めている成人 (N = 1945) が、1、5、7 と 9 年に経過観察された。交差的時間差部分的偏回帰係数によるパスモデリングが、原因的関連を検定するのに用いられた。</p> <p>交差的時間差パスは、1 年と 5 年の間に 12 ステップにより多く参加していたことを示し、過去の-30-日の断酒は 5 年と 7 年でも因果関係があった。そして、12 ステップへの参加が治療期間後の断酒によく関連することを示唆した (しかし、その逆は必ずしも真ではない)。若干の性差は、これらの関係で見つかった。</p> <p>3 つの有意な時間差間接的経路が、治療期間と年-9 年後の断酒と関連づけて現れた。結論は、縦断的デザインを使用している他の研究を参考にして考察をした。本研究の結果は、外来患者クライアントについて、長い治療期間と 1 年目 12 ステップへの参加に価値があることを強く支持する。</p>		